

第3回山都町子ども議会



～ 山都の未来へ繋ごう！～



町内3中学校の生徒18名が参加した第3回山都町子ども議会が、令和2年1月31日に行われました。

議長は蘇陽中学校2年生の高野藍沙さんが担当しました。

生徒たちは山都町がより良い町になるように、山都町の現状を調べたり、他の市町村の事例を参考にして町が活性化するような取り組みを梅田 穰町長ら執行部に提案しました。

議場という独特の雰囲気の中、生徒たちは緊張しながらも、自ら考えた提案を堂々と大きな声で発言していました。

【議長役 高野藍沙さんの感想】

リハーサルから本番までお世話になりました。私はこの議会をきっかけに地元へ貢献するようなことができ、とてもうれしく思います。これからの山都町のためにも私たちの提案をご参考にしていただければ幸いです。貴重な体験をありがとうございました。

【梅田町長 総括】

これからのわが町の行政の中に十分反映されるようなビックリする皆さんのご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

今回皆さんからいろいろご意見いただいたもの、また前回、前々回の子ども議会で提案いただいたものを行政の中に生かし、実現するよう全力を挙げて取り組んで参りますので、このような取り組みに注目していただければ、幸いかと思っております。皆さんありがとうございました。

【工藤町議会議長 講評】

本日は非常に緊張感のある議会が行われたと思います。また、非常に新鮮味のある質問ができてきたと思います。議会議員というのは地域の方々の思いを行政につなぐパイプ役であります。皆さんが議員となつて言われたこと全てを実現するのは難しいかもしれませんが、この町を少しでも良くしよう、この町を何とかしようという思いが一番大事だろうと思います。それぞれ目標を持ってこれから頑張っていたいただきたいと思います。

